

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 54

啓示録において (3)

命の木

聖書・創 2:7-9. 啓 2:4-5, 7. 22:1-2, 詩 36:7-9. 73:25-26

- I. 命としてのキリストは、命の木の実際であり、命の木は宇宙の中心です——創2:9.
ヨハネ1:4. 10:10. 14:6. 15:1. 6:35, 63. I コリント15:45後半：
 - A. 命は神の創造の目標です——創 1:26-28, 31. 2:7-9。
 - B. 神の有機的な救い、すなわち、キリストの命の中で救われることは、神の法理的な贖いという手続きの目標です——ヨハネ 19:34. ローマ 5:10. コロサイ 3:3-4. 啓 22:1-2。
 - C. 命は、神ご自身がキリストの中でその霊として流れ出て、人によって享受され、人を喜ばせ、満足させることです——詩 36:7-9. 啓 22:1. エレミヤ 2:13。
- II. わたしたちは、神の命が人の中で出遭う障害を見る必要があります：
 - A. 神の命がわたしたちの中で出遭う第一の問題は、わたしたちが人の観念の暗さを認識していないということです：
 1. わたしたちは見る必要がありますが、クリスチャン生活において重要な唯一の事は、わたしたちの中の生けるキリストをわたしたちがどのように取り扱うかということです——ガラテヤ 1:16. 2:20. 4:19. ピリピ 1:19-21. エペソ 4:13. II コリント 3:18。
 2. クリスチャンになることの意味は、キリスト以外のどんなものもわたしたちの対象にしないということです。多くの人が救われた後に、霊的な命の上で問題を持つのは、彼らが命の道を認識しておらず、キリストを命としていないからです。
 - B. 命がわたしたちの中で出遭う第二の問題は、偽善です——マタイ 6:2, 5. 7:5. 23:13-29：
 1. 人が霊的であるかどうかは、外側の現れにあるのではなく、彼がどのように内住のキリストを取り扱うかにあります。
 2. わたしたちの天然の良さは偽りの霊性であり、それは実は命にとって大きな障害です。命の表現は、わたしたちの天然の性情と好みを拒絶して、単純になってキリストにわたしたちの中で活動していただき、わたしたちを砕いていただくことと関係があります。
 3. もしわたしたちが、いつも自分の性情と天然の存在にしたがって物事を行なうのであれば、その結果はいつも偽善です。
 - C. 命がわたしたちの中で出遭う第三の問題は、反逆です：
 1. キリストはわたしたちの中で活動し、わたしたちに感覚を与えます。そして、わたしたちに対する彼のみこころが何であるか、わたしたちに対する要求が何であるか、わたしたちに対する彼の導きが何であるか、わたしたちに対する対処が何

であるかを、わたしたちにはっきりとさせます。

2. しかしながら、もしわたしたちが内側の感覚に服従せず、逆らい、彼の導きを受け入れず、代価を払わないなら、このように反抗することや反対することは、反逆です。
3. わたしたちが最もしばしば、また最もひどく犯す罪は、外側の見えるものではありません。そうではなく、わたしたちの中のキリストの感覚に服従しないという罪です。キリストはわたしたちの中に生きており、絶えずわたしたちに命の内側の感覚を与えています——ローマ 8:6. I ヨハネ 2:27. 参照、エペソ 3:1. 4:1. 6:20. II コリント 2:12-14.

D. 命がわたしたちの中で出遭う第四の問題は、わたしたちの天然の能力です：

1. 多くの兄弟姉妹は真に主を愛しており、主のために熱心であり、とても敬虔です。それにもかかわらず、彼らの最大の問題は、彼らの能力と才能が高くて大きいことです。結果として、キリストは彼らの中で地位を持たず、道を持ちません。
2. わたしたちは能力があり、素質があるかもしれませんが、しかし、わたしたちはこれらのものを罪や汚れと考えていません。わたしたちは自分の天然の能力を軽蔑するのではなく、反対にそれらを尊んでいます。もしそれらがわたしたちの中でずっと砕かれないままであるなら、それらはキリストの命にとって問題となります。

E. わたしたちの中のこれらすべての障害に対して、一つの解決があります。すなわち、わたしたちは十字架を経過し、十字架にわたしたちを砕いていただかなければなりません。キリストの命がわたしたちの中で妨げられないことを願うなら、わたしたちは十字架の砕きを経験して、これらの障害が対処され、取り除かれるようにしなければなりません——マタイ 16:24-25。

III. 命の木を食べること、すなわち、キリストをわたしたちの命の供給として享受することは、召会生活における主要な事柄であるべきです——啓2:7. ヨハネ6:57：

- A. 召会生活の内容はキリストに対する享受にかかっています。わたしたちが彼を享受すればするほど、その内容はますます豊かになります。しかし、キリストを享受することは、わたしたちが最上の愛をもって彼を愛することを必要とします——啓 2:4。
- B. わたしたちが主に対する初めの愛から離れるなら、キリストに対する享受を失い、イエスの証しを失います。結果として、燭台はわたしたちから除き去られます。
- C.。これら三つの事柄、すなわち主を愛すること、主を享受すること、主の証しであることは同行します。

IV. 初めの愛、最上の愛をもって主を愛することは、すべての事で主を首位、第一位とし、彼の愛に押し迫られ、彼をわたしたちの生活の中であらゆるものとし、あらゆるものとして受けることです——4節. コロサイ1:18後半. II コリント5:14-15. マルコ12:3

0. 詩73:25-26. 80:17-19：

- A. あらゆる人の主に対する愛の起点は、彼のパーソンに対するビジョンです。主に對する初めの愛を離れることは、歴代、召会の失敗の根源また主要な原因です。ただ愛だけが、わたしたちを主との正常な関係の中に保つことができます——ピリピ

3:8. マタイ 26:6-13. エペソ 3:16-19. 6:24. 啓 2:4-5. 参照、3:20。

- B. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、悔い改めて、初めのわざを行なうことです。初めのわざとは、初めの愛から出て来る行為です——2:5. I テサロニケ 1:3. II コリント 4:5. 5:14-15. 雅 2:4-5. ローマ 8:31-39.
- C. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、主との個人的で、愛情に満ちた、ひそかで、霊的な関係を持つことです——雅 1:1-4.
- D. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、日々朝ごとの復興の生活をして、夜明けの胎から出る露のようなキリストの若者となることによって、彼を満足させ（詩 110:3）、教えを受けた者の舌を持って、疲れた者を言葉をもって、いかに支えるかを知り（イザヤ 50:4-5）、神と交わり、神の福音の奉仕のために、彼のみこころを尋ね求めて喜ぶことです（マルコ 1:35）。
- E. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、日ごとに献身の生活をして、今日のナジル人となり、完全に神へと分離され神で浸透されて、神を彼の神聖な三一の中で神の子たちの中へと分与することによって、彼らを祝福することです——詩 110:3. 民 6:1-9, 22-27.
- F. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、祈りの生活をするということです——サムエル上 12:23. マタイ 6:6. 14:22-23. ダニエル 6:10. 2:17-18. I テモテ 2:1. II テモテ 1:3. I テサロニケ 5:17.
- G. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、神の言葉を愛し、尊び、思い巡らすことです——詩 119:11, 14-15, 23, 48, 72, 78, 97, 99, 111, 113, 119, 127, 140, 147-148, 159, 162-163, 165, 167.
- H. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、主の直接の、顔と顔を合わせた臨在によって統治されることです——出 33:11, 14. 13:21-22. II コリント 2:10.
- I. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、召会を愛するキリストの中で、召会を愛することです——エペソ 5:25. II コリント 12:15. I コリント 16:24.
- J. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、召会を建造する務めを愛することです——II コリント 8:5. I ヨハネ 1:3. エペソ 4:11-12.
- K. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、その霊によって生き歩き、その霊によって仕え、その霊を供給することです——ガラテヤ 5:25. ピリピ 3:3. II コリント 3:6. ゼカリヤ 4:6. 士 9:9. 参照、サムエル上 2:30 後半.
- L. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、彼を生ける水の源泉とすることです。神のエコノミーにおける目的は、生ける水の源泉、源となって、ご自身を彼の選ばれた民の中へと分与して彼らの満足また享受となり、召会、神の配偶者を生み出し、それが神の拡張、神の拡大となり、神の豊満となって彼を表現することです——エレミヤ 2:13. ヨハネ 4:14 後半.
- M. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、命の木としての彼を食べることです。命の木としてのキリストを食べること、すなわち、

わたしたちの命の供給としてのキリストを享受することは、召会生活における主要な事柄であるべきです——啓 2:7。

- N. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、絶えず彼に来て彼に触れ、彼を取り、彼を受け、彼を味わい、彼を享受することです——イザヤ 57:20、フットノート 1。
- O. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、彼をわたしたちの中心性（わたしたちをつなぐ中心）、またわたしたちの普遍性（わたしたちのすべて）とすることです。わたしたちは彼を、わたしたちの個人的な宇宙の中心、内容、円周とする必要があります——コロサイ 1:17 後半, 18 後半。
- P. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、すべての事で彼に喜ばれようと切望し、志すことです——Ⅱコリント 5:9, コロサイ 1:10, ヘブル 11:5-6。
- Q. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、畏るべき水晶のような澄み渡った空と、その上に神のサファイアの御座を持つことです。これは、わたしたちと主との間に妨げるものが何もなく、わたしたちが彼の支配する臨在の天的な雰囲気、状態、状況に満たされ、彼にわたしたちの内側で支配し統治していただくことを意味します——エゼキエル 1:22, 26。
- R. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、かしらとしての彼に結び付き、親密に彼に結び付けられ、わたしたちの生活におけるあらゆるものの支配者また決断者として彼に御座に着いていただくことです——コロサイ 2:19。
- S. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、わたしたちのクリスチャン生活と働きのあらゆる詳細において、エホバの助言を求めることです——ヨシュア 9:14, ピリピ 4:6-7。
- T. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、わたしたちであること、またわたしたちが行なうことすべてにおいて、命の流れ、すなわちわたしたちの内側の主イエスの流れを首位とすることです。その時、彼はわたしたちの内側で輝く方、贖う方、支配する方、流れる方、供給する方です——エゼキエル 47:1, 啓 22:1-2。
- U. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、わたしたちのミングリングされた霊によって管理され、支配され、指示され、導かれ、動かされて、彼のとりことなることによって、また「主よ、わたしをあなたのとりこととしてください。決してわたしに勝たせないでください。絶えずわたしを打ち破ってください」と祈ることによって、わたしたちの霊の中の安息を顧みることです——Ⅱコリント 2:13-14。
- V. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、わたしたちの賛美をもって彼を御座に着かせることです。賛美は神の子たちによってなされる最高の働きです——詩 22:3, 119:164, 34:1。